

## 戦評

大会名 平成26年度第67回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日 時 平成26年6月7日～9日

会 場 八戸東体育館ほか

女子決勝（6月9日）

弘前学院聖愛高等学校 2  $\left\{ \begin{array}{l} 25-19 \\ 25-18 \end{array} \right\}$  0 五所川原商業高校

ファーストレフリー

新岡 勇士

セカンドレフリー

山道 律人

決勝は10年連続16回目の優勝を目指す弘前学院聖愛高校（以下聖愛）と、13年ぶり3回目の優勝を目指す五所川原商業高校（以下五商）の対戦となった。

第1セット序盤は、聖愛はセンター攻撃、五商はサイド攻撃で加点し、聖愛がリードしながらシーソーゲームが展開される。聖愛のミスもあり五商が追いつき12-12で聖愛が1回目のタイムアウト。五商がサイド攻撃で加点すれば、聖愛もAクイックで加点し、両者譲らずゲームは後半に突入する。五商は渋谷中心で攻撃を組み立てるが、聖愛のディグが徐々に五商のスパイクを拾い出し、五商のミスも出て19-16聖愛のリードで五商が1回目のタイムアウト。その後も五商はコンビミスが出て21-16で五商が2回目のタイムアウト。五商も粘るが、最後は聖愛松尾、鶴田のスパイクが決まり25-19で聖愛が第1セットを先取する。第2セット五商は、渋谷のスパイクが決まり攻撃のリズムを作り、五商リードでゲームが始まる。聖愛も三上のサイド攻撃で加点していきシーソーゲームが、展開される。要所で聖愛のセンター攻撃が決まり聖愛が追いつくと、さらに聖愛の持ち味であるコンビバレーが出始め徐々にリズムをつかむ。五商も三和、渋谷のサイド攻撃で加点していくが、聖愛のサイド攻撃が決まり始め、14-11聖愛リードで五商が1回目のタイムアウト。タイム後も聖愛鈴木スパイクが決まり、17-12で五商2回目のタイムアウト。その後五商も田中のセンター攻撃が決まるが、聖愛鶴田のスパイクが連続で決まりリードを広げていく。五商も渋谷のスパイク、サーブが連続で決まり粘りを見せるが、聖愛キャプテン三上のスパイクが決まりリードを広げる。最後は聖愛松尾のレフト攻撃が決まり、25-18で聖愛が10年連続16回目の優勝を決めた。

戦評者 村元直記